

を定めて所定のマークで表示し、それらをチャンネル毎に等電図上に合成した。

B-6) 1卵性双生児に見られた先天性トキソプラズマ症

池田 秀敏・相原 担道 (磐城共立病院)
府川 修・佐藤 慎也 (脳神経外科)

1卵性双生児でトキソプラズマ原虫に因る胎内感染症と考えられた症例を経験した。双生児は相同法に因る卵性診断で1卵性と判断された。双生児の兄は、生後3カ月に水頭症を呈したため、生後4カ月に脳室・腹腔シャント術を施行した。一方、弟は、生後6カ月になり小頭症を呈するに至った。CT scan 上、2例とも脳室壁に添う石灰化を認めた。兄には、脳実質内に多発性の小低吸収域と、高度の脳室の拡大を認めたが、弟には、脳実質内病変は明らかでなく、脳室拡大も中等度であった。網脈絡膜炎は、兄の左眼底に認められたのみであった。感染因子の検索では、トキソプラズマに対する特異的 IgM 抗体を母親・双生児ともに見だすことはできなかったが、トキソプラズマ IgG 抗体は、母親5120倍、兄1280倍、弟2560倍と異常高値を示し、胎内トキソプラズマ感染が強く示唆された。トキソプラズマの胎内感染により、遺伝的背景が全く同一である1卵性双生児に、水頭症と小頭症という異なる表現型がみられたことから、この表現型の違いには、遺伝的要因よりも、環境要因が重要な役割を果たしていると考えられた。

B-7) Cloacal exstrophy を伴った Terminal myelocystocele の1例

長野 隆行・山本 覚 (岩手医科大学)
斉木 巖・金谷 春之 (脳神経外科)
斉藤 淳 (同 小児科)

症例：4カ月・男児

昭和62年8月4日、在胎36週、自然分娩にて出生。生下時体重 3310g、頭囲 33.7cm であり、出生時腹部腫瘤、総排泄腔外反、鎖肛、腰仙尾部の巨大腫瘤を認め、同日当院 NICU に、転送入院。9月1日当院第三外科にて膝帯ヘルニア閉鎖及び回腸瘻造設術を施行。12月1日腰仙尾部腫瘤の処置について当科紹介となる。当科入院時神経学的陽性所見は両下肢の完全マヒのみであり、頭頸部、顔面、上肢に異常はなく、尿は外反膀胱に開口する尿管口より絶えず流出している状態であった。また、腰仙尾部に 12.5cm×12cm×9.5cm のう腫様腫瘤を認めた。12月14日腰仙尾部腫瘤に対し Repair を行な

い、terminal myelocystocele の診断を得た。術後は水頭症の合併症もなく、経過良好である。

Terminal myelocystocele は脊髄中心管末端部がのう腫様に後下方に突出した二分脊椎の特殊型であり、重篤でかつ多様な奇形を合併する。本例に総排泄腔外反を合併した例は少なく、手術例は4例報告されているに過ぎない。その文献的考察及び治療方針について述べる。

B-8) Cephalocele 2症例の手術所見と切除標本の検討

府川 修・相原 担道 (磐城共立病院)
池田 秀敏・佐藤 慎哉 (脳神経外科)
富永 邦彦 (同 病理部)

頭瘤の切除術を行うにあたり、切除された部分に脳組織が存在するか否か、その組織像は正常か否か、切除後の機能予後はどうか、等と関連させた切除標本についての報告は少ない。そこで今回は2例の parietal cephalocele につき、その手術所見と切除標本について報告する。症例1は、生後17日目に頭瘤(10×6×5cm)の切除を行った男児。頭蓋内に続く直径約1.5cmの索状物を切断すると、その断面は黄色くやや硬く変性した脳組織と考えられた。切除標本は、頭皮下に loose connective tissue およびこの中に大小の島状の glia cell, gemistocyte の集簇を認めた。硬膜、クモ膜、軟膜は認めなかった。症例2は、生後3カ月目に頭瘤(12.5×8.5×10cm, 580g)の切除を行った女児。皮下の層状の癬痕様組織を剥離したのち頭蓋内に連続する直径約3cmの索状物を切断すると、水様透明な液体の流出を認めた。切除標本は大きな腔を有しており、頭蓋内とは隔離されており、外側より表皮—皮下組織—硬膜—クモ膜—軟膜—薄い脳組織—上皮細胞—cyst 内腔が確認された。2症例とも術後運動機能に問題はなく、生後6カ月目(症例1)、9カ月目(症例2)現在の DQ は、各々74.82であった。2症例の手術所見、切除標本の剖面、その組織像等を提示する。

B-9) 小児正常圧水頭症2例の検討

—シャント機能不全治療上の問題点—

渡辺 正人・今村 均 (新潟大学)
山田 修久・恩田 清 (脳研究所)
武田 憲夫・田中 隆一 (脳神経外科)

成人の正常圧水頭症(NPH)に比べ小児NPHの病態と発生機序についてはまだ充分に言及されているとは言えない。今回我々は、小児NPHの2例を経験した